

平成31年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	6	議席 番号	3	氏名	植松健一 議員	1 / 2
発言項目		要 旨				答弁者
1	災害避難対策について	<p>(1) 災害時にすぐに必要となるのが水・食料とともにトイレである。水・食料については一日二日は我慢できても排せつは待たない。また避難生活が長くなった場合、トイレが問題となり、それが原因で体調を崩す方が出たり、衛生面での大きな問題となることが予想される。災害時のトイレ対策について伺う。</p> <p>① 広域避難所のトイレについて、市は今後テントトイレ及び便袋の備蓄を増やしていくとしているが、現在の整備状況と今後の整備計画について伺う。</p> <p>② テントトイレの使用後の便袋の処理についてはどのように考えているか。</p> <p>③ 災害時、多くの方は自宅避難をすることになるが、避難所と同じように上下水道が破断している場合はほとんどの家庭でトイレを使用できなくなる。そのような状況を考えると各家庭において携帯トイレの備蓄が必ず必要であると考えがいかがか。また、各自治会においても備蓄が必要であると考えがいかがか。</p> <p>④ 携帯トイレの家庭での備蓄、自治会での備蓄について補助金の交付や市を通して割安で購入できるような制度はできないか。</p> <p>(2) 広域避難所である富士宮北高校においては関係する5区の自主防災会により自主的に避難所運営委員会を組織し、運営のための会議を定期的に行い、避難訓練を行っている。広域避難所運営の組織化の必要性について伺う。</p> <p>① 広域避難所の場合、関係する複数の自主防災会との連絡・調整が必要であり、今後各広域避難所でも早期に運営委員会の立ち上げが必要であると考えがいかがか。</p> <p>② 災害が起き避難所として開設された場合、避難所運営委員会が行政との窓口になる。避難所運営委員会にも自主防災会と同じような位置づけで行政との連絡・情報提供の系統やシステムを設けたり、災害に備えた組織の運営や訓練についても行政としてかかわっていくべきと考えがいかがか。</p>				市長 副市長 関係部長
2	空家対策について	<p>(1) 空家等対策の推進に関する特別措置法及び第5次富士宮市総合計画に基づき富士宮市空家等対策計画が昨年5月に策定された。計画の執行状況について伺う。</p> <p>① 発生した空家についてどのようにして把握を行っているか。また現在市内空家の件数及び分布はどのようになっているか。また今後予想される推移は。</p> <p>② 管理されていない空家に対する苦情等はどの程度あるか。またどのような内容か。それについての対応について伺う。</p> <p>③ 空家の活用の状況について伺う。</p> <p>④ 空家バンクの設置、または空家の届出制度化についての考えはあるか。</p>				市長 副市長 関係部長

発言 順序	6	議席 番号	3	氏名	植 松 健 一 議員	2 / 2
発 言 項 目		要 旨			答 弁 者	
		(2) 空家を増やさないためにまずは空家を発生させないようにすることが重要であると考え。そのための施策について伺う。 ① 空家の発生する要因についてどう捉えているか。 ② 空家発生の防止、もしくは空家解消についての市民からの相談を受けているのか。 ③ 空家の発生を抑制するための解決策はあるか。				